

東地申第1号

12月6日 第2回交渉—その1

「JR東労組東京地本第34回定期大会発言」に基づく申し入れ

第2項のつづき

2. 鉄道事業本来の安全風土確立のために鉄道業の職務に集中し専念できる職場環境と体制を整えること。また、再発防止の観点から、安全情報等については、当初の目的を貫徹させるため、起きた事故・事象について背後要因を含め、全システムが自分の業務に置き換え議論できる内容とし、懲罰的な対応と対策によって隠蔽体質が蔓延しないよう予防安全に努めること。

主な議論内容

組合 運転コンクールについては会社と認識が合わないが、申14号で議論を行っていききたい。『選択』で指摘されていることは真摯に受け止めなくてはならない。起きた事象を全システムで自分の職場に置き換えることが重要で懲罰的対応は改めるべきだ。懲罰的対応で職場では「隠ぺい体質」が生まれている。また、組織が大きくなり過ぎて縦割りになっているために、対策が全システムで後手になっていることを、会社は重く受け止めるべきだ。

JR西日本は経営方針で「全てにおいて安全を最優先にする」ことを掲げている。経営方針は分かりやすくすることだ。そして、現場・支社・本社が一体となった風通しの良いコミュニケーションをつくるのが大切だ。

会社 起きた事象を、他部門・自分の業務に置き換えて今後も議論していく。バランスを見て、縦割りが障害にならないようにするのが安全企画室としての仕事だ。繰り返し発生する事象は止まっておらず、対策が機能していないので注視して見ないといけない。手順は分かっている作業内容の意味が理解されていない表れであり、継続した課題だ。

組合 現在、危惧する事象が発生している。様々な取扱い変更、常磐線半自動扱い等、現場で議論する時間がなさすぎる。労働条件の変更に関する事柄も組合に説明がない。判断は会社にあるが、現場に浸透することがあるべき姿だ。より良いやり方、施策にするために労働組合の意見を聞き入れるべきだ。

そのことが労使共同宣言の精神により近づいていくことにつながる。

会社 他支社・他会社との調整が増え、お客さまのニーズもあり、スピード感が要求されている。場合によって意見を伺うが、安全第一の施策を行うことには変わらない。現場で作業する人の立場に沿って進めていく。指摘は分かるが、どこまでお知らせするか判断できない。窓口を基本にして進めていきたい。

労使の議論がなければより良い施策は生まれない!!

第2項終了!

3. 営業施策で一括委託駅から当務駅長体制が無くなったことによって発生している業務実態について認識を明らかにし、議論経過に基づきエルダー職場に相応しい職場・業務執行体制を確立すること。

会社回答 業務委託後の駅業務体制については駅業務受託会社で定めており、これまで大きな問題は発生していないという認識であるが、課題等が発生した場合には今後も引き続き会社間で連携して対応していく考えである。

主な議論内容

組合 業務委託に伴い当務駅長が居なくなったことで、仕事が受け継がれていない。事故証明書やタクシー代行の取扱いを一般職社員が夜間一人で行うために、ミスや事故も発生しているのが現実だ。駒込駅・上中里駅では保護具を着けずに線路に降りており、起床遅延も発生している。夜間一人体制では、目の前のその場の対応が求められる。フォローできる体制を取るべきだ。

会社 業務委託の体制はJESSが行っており、東京支店が宿直体制を取っている。分からないことについては宿直が対応することになっている。保護具を着けずに線路に降りることは重い事象だ。東京支店と支社と意見交換を行い、必要な措置やノウハウを教えている。また、宿直が現場に行くこともある。全ての駅ではないが管区制を敷いているので、エリアマネージャーが現地に行っている。

組合 支店の宿直が現場に出動している回数を示すべきだ。

会社 数字は持ち合わせていないが、必要な時に現場に行っている。

組合 業務委託以降、目白駅・駒込駅では、列停の復位と指令との連絡方法が分からずに乗務員から聞いている。事象を掘り下げて対策を立てるべきだ。また、大塚駅で発生した人身事故では、現場確認をしていない中で運転再開可能の判断を行っている。これは大きな問題であり、問題解決に向けて本体がしっかりと責任を持つべきだ。

会社 個々の事象は認識している。仕組みの中で教育しているが100%とはなっていない。事象の振り返りと定例訓練にも入り、レベルアップを図っている。

組合 業務委託後、6ヶ月経っても若年出向者が本体に戻っていない。どれだけの人が出向して、委託先での教育がどのようになっているのか示してもらいたい。今ある問題の解決がなければ、施策は受けられない!

本体に委託した側の責任がある!

仕事が受け継がれず、安全に関する重大な事象とミスが止まらない!!

今ある問題が解決しない限り、新たな施策は受けられない!!

その2へつづく!